

綾川町教育委員会

綾川町立滝宮小学校

1 実践のテーマ

—好きだよ 私たちの町 滝宮—

- ・自分たちが育ったふるさとの様子、伝統や文化と地域の人々を課題に探究する

2 目標

- (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域のよさに気づき、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気付く。(知識・技能)
- (2) 地域の人、もの、ことの中から問いを見いだし、解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報をもとに考えたりするとともに、考えたことを、まとめ・表現する力を身に付ける。(思考力・判断力・表現力)
- (3) 地域の素材について主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、社会に参画しようとする態度を育てる。(学びに向かう力・人間性)

2 内容

- ・地域や児童の実態を踏まえて探究課題を設定し、学習過程（課題設定→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現）を繰り返すことで、考えや課題を新たに更新しながら活動を進める。
- ・学習成果を表現する場を工夫する。

探究例：・ユネスコ無形文化遺産登録「滝宮念仏踊り」

- ・学問の神様「滝宮天満宮」
- ・ふるさと滝宮の夏祭り・運動会の際に踊る「滝宮ばやし」
- ・うどん研究会の方と一緒に作る「はくたく（うどんのもと）づくり」等



3 成果と課題

- 探究課題を自己選択・自己決定し、情報収集・整理分析等するので、意欲的な学習が展開されている。
- 年度末の公民館の老人会、後輩の2年生への発表等、学習成果を発表する機会を設定しており、目的意識や相手意識をもった学習活動が展開されている。
- 「滝宮念仏踊り」「はくたくづくり」等では、地域の方を講師にお招きし、本物の用具の鑑賞、由来等をお聞きして、本物体験をすることで、より地域の文化遺産についての実感を味わうことができた。
- 伝統的な人・ものなどが歌詞の中に入っている「滝宮ばやし」では、婦人会の方に踊りを教えていただいて運動会で発表したり、公民館の方に歌詞の由来をお聞きしたりして意欲的な学習ができた。
- 地域で文化遺産等の探究学習を展開する中で、継承していこうという意識は高まっているが、実践する力までには及んでいない。